

## 道徳の時間で活用する ～相互理解、寛容～

田布施町立麻郷小学校 梶川 裕得

### 1 本場面におけるポイント

- 導入において「私たちの道徳」P81を活用することで、広い心についてそのよさを感じつつも、実生活では課題があることを自覚できるようにする。
- 「私たちの道徳」を読み物資料として活用し、登場人物のもつ広い心とその根底にある謙虚さに気付くことができるようにする。
- 終末において「私たちの道徳」P81を再度活用し、導入時に挙げた課題を踏まえ、実生活で広い心をもつためにどうすればよいか考えられるようにする。

### 2 授業の実際

- 1 主題名 謙虚に広い心をもって 「資料名 ブランコ乗りとピエロ」
- 2 ねらい 自己中心的なサムの振る舞いを責めなかったピエロの気持ちを考えることを通して、謙虚で広い心を持ち、自分と異なる意見や立場を大切にしようとする心情を育てる。

### 3 展開

#### (1) 導入

教師：この人、心が広いなって思う人はどんな人？

A児：心が優しい人。

B児：親切な人。

C児：おおらかな人。



私たちの道徳 P81

- 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

広い心について児童のもつイメージを出し合い、「私たちの道徳」P81の三つの挿絵を黒板に取り上げることで、実生活では広い心で人と接することができない場面もあることを想起させる。

#### (2) 展開

教師：ピエロは、どんな気持ちで団員たちに語りかけたのだと思いますか。

A児：悔しい気持ちもあったけど、サムもがんばっていることをみんなに分かってほしいという気持ち。

B児：自分もサムも目立ちたいのは一緒だから、サムだけを責めるのはいけないという気持ち。

C児：自分のことを振り返ってみて、サムのことを許してあげたいという気持ちになったのだと思います。

教師：なぜピエロはサムを責めなかったのだと思いますか？

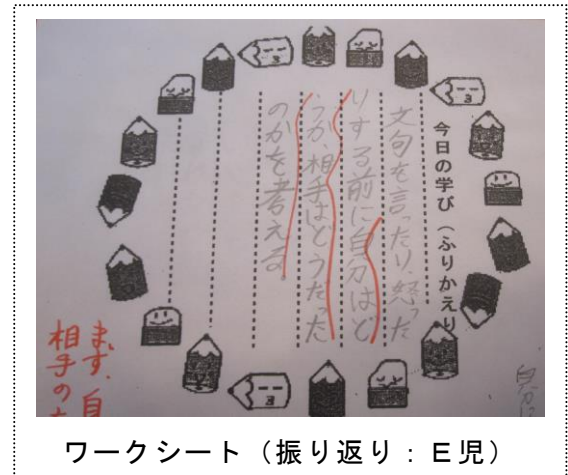
A児：サムのがんばりに感動したから。

B児：サムもお客さんを楽ませるために必死で頑張っているのは、自分たちと同じだと思ったから。

C児：ピエロが自分にも目立ちたいという気持ちがあることに気付いたから。

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

自己中心的なサムの振る舞いを責めなかったピエロの気持ちについて、自分の考えを班で話し合い、出し合った考えを小黒板に書いて全体で共有できるようにする。ピエロが広い心をもってサムのことを理解しようとするまでに、ピエロにどんな心情の変化があったのかをじっくり考えることができるように、話し合う時間を確保する。



(3) 終末

教師：広い心で人と接するためには、どうしたらよいと思いますか。  
A児：相手の立場に立って考えるようにすればよいと思います。  
B児：人の悪いところではなく、まずよいところを見つけるようにすれば、広い心をもてるようになると思います。  
D児：相手の考えや気持ちを知ることが大切だと思います。  
E児：文句を言ったり怒ったりする前に、自分はどうか、相手はどうだったのかをきちんと考えるとよいと思います。  
F児：いろいろな人の意見に耳を傾けて、相手のことを考えるようにすればよいと思います。

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

みんなで考えたことについて振り返る中で、「私たちの道徳」P81の三つの挿絵に再度触れ、広い心で人と接することが難しく感じる場面もあることを想起させる。その上で、本時に考えたことを生かし、広い心で人と接するために、どんな心構えでいることが大切かについて考える。

**3 実践を振り返って**

「私たちの道徳」P81の三つの挿絵は、広い心で人と接することのよさを知りつつ、そのように振る舞えない場面があることを自覚するのに役立った。児童は、本時で考えたいことについての課題意識をもつことができたのではないかと思う。また、児童は、読み物資料「ブランコ乗りとピエロ」を通して、広い心で人と接する寛容さは、相手の立場に立つだけでなく、自らも過ちを犯すことがあるという自覚や謙虚さから生まれることに気付くことができた。児童一人ひとりが考え、じっくりと話し合うことができるように、発問を絞ることの重要性を改めて感じた。